

ビワ生育情報

千葉県
平成29年1月号

平成28年12月の気象

平成28年12月の半旬別気象は表1に示した。平均気温は、第3半旬を除く5半旬で平年並みか高かった。月平均は9.6℃で、平年より1.1℃高く、前年より0.5℃低かった。

最低極温は第1、第2及び第5半旬では平年を上回ったが、その他の3半旬では平年を下回った。氷点下日数は2日であった。

降水量は、第1、第3及び第5半旬では平年より多かったが、その他の3半旬では平年より少なく、第2及び第4半旬では降雨がなかった。月合計は119mmで、平年の127%、前年の117%であった。

日照時間は第3及び第6半旬を除く4半旬で平年を上回り、月合計は188時間で平年の114%、前年の128%であった。

表1 平成28年12月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	気温(℃)			氷点下日数(日)			最低極温(℃)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	12.5	10.3	11.4	0	0.1	0	6.5	3.1	5.2
2	10.5	9.4	9.8	0	0.2	0	4.1	2.1	2.3
3	7.6	9.0	13.1	0	0.4	0	0.4	1.8	8.6
4	7.9	7.9	9.6	0	0.3	0	0.0	1.0	0.3
5	11.3	7.8	10.7	0	0.6	0	3.7	0.4	5.2
6	7.9	7.1	6.6	2	1.3	0	-0.6	-0.4	0.5
平均/計/最低値	9.6	8.5	10.1	2	3.0	0	-0.6	-1.2*	0.3

※：12月の過去30年間の最低極温の平均

半旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	42	25	36	28	25	29
2	0	12	3	39	25	23
3	50	15	42	23	26	16
4	0	11	0	37	27	31
5	22	10	22	30	28	16
6	5	21	0	32	34	32
合計	119	94	102	188	165	147

2月の作業（樹及び花房の発育は次ページ）

1月中旬～2月上旬は1年中で最も寒い時期である。本年は開花の進みが早く、開花期間が短い傾向であるので(表2)、寒害を被る危険が高い。したがって、急な寒波には

十分注意し、必要に応じて、被覆資材で樹体を覆う方法や園内をヒーターにより加温する方法など対策を行う。

ビワの根は2月中下旬には動き始めるので、苗木の定植は2月中に行う。また、がんしゅ病の感染に備えて薬剤の散布も行う。

苗木の植え付け

ビワの苗木の植え付けは、発芽直前で根の活動が緩慢な2月中下旬が適期である。苗木は根鉢を崩さないように土を付けた状態で移植すると植え傷みが少ない。移植に時間を要する場合は、掘り上げ前に苗木の全ての葉を半切りしておく。

植穴は直径1～1.5m、深さ40～50cmの穴を掘り、穴の底に完熟堆肥を入れる。土の埋め戻しは土が落ち着くときの沈下を見込んで地表面から30～50cm高く盛り土する。定植後は苗に支柱を添え、十分にかん水した後、盛り土が乾かないように敷きわらをしておく。

がんしゅ病の予防散布

がんしゅ病は一度発生すると防除が難しいので、感染防止を目的として、春枝の新葉展開期の3月上中旬に薬剤散布を行う。幹、枝及び葉に薬液が十分付着するように散布する。薬剤散布に当たっては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針に従う。

樹及び花房の発育

ビワの開花期は表2に示した。暖地園芸研究所の開花始期は、「楠」が11月4日で、平年より5日早く、前年より2日遅かった。「大房」が11月17日で、平年より9日早く、前年より3日遅かった。「田中」が11月7日で、平年より7日早く、前年より3日遅かった。開花盛期は、「楠」が11月26日で、平年より2日早く、前年より7日遅かった。「大房」が12月13日で、平年より7日早く、前年より9日遅かった。「田中」が12月3日で、平年より3日早く、前年より13日遅かった。開花終期は、「楠」が12月19日で、平年より7日早く、前年より13日遅かった。「大房」及び「田中」は1月4日現在、開花終期に至っていない。

花房の出蕾が3品種共に平年よりやや早く、10～12月の気温がやや高かった影響で、開花の進みは3品種共に平年より早い傾向である。樹体及び花房の生育は良好である。

表2 ビワの開花期（暖地園芸研究所）

品 種	開花始期(月.日)			開花盛期(月.日)			開花終期(月.日)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	11. 4	11. 9	11. 2	11.26	11.28	11.19	12.19	12.26	12. 6
大 房	11.17	11.26	11.14	12.13	12.20	12. 4	—	1.29	12.20
田 中	11. 7	11.14	11. 4	12. 3	12. 6	11.20	—	1. 9	12.11

平年：1986年（昭和61年）～2015年（平成27年）の30年間の平均

※開花期の算出方法を変更したので、前号と一致しないところがある。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>